

# 最新ひろしまの考古学概説

(財) 広島県教育事業団埋蔵文化財調査室 室長 伊藤 実

## 1 おいしい! 広島県 の考古学

### その1 邪馬台国論争と広島県

邪馬台国の時代の遺跡はたくさんあるのに、邪馬台国論争には置いてけぼり・・・？

(本日の論旨) いや、いや、近畿に卑弥呼さんが居た(近畿説)とすれば・・・、

広島は重要なポイントだぁ! ?

【主な参考文献】

岡内三真他『邪馬台国研究 新たな視点』(朝日新聞社) 1996年。

武光誠他『魏志倭人伝と邪馬台国』(読売ブックレットNo.10) 1998年。

### その2 銅鐸はなぜか3個しか見つからない？

隣の島根県や岡山県にはたくさん出るのに、県境を超えるとなぜ出ない・・・？

(本日の論旨) いや、いや、どっこい、県内のどこかにゴッソリ埋まっている・・・

と推理する・・・、特に安芸と備後の境あたりがあやしい! ?

【主な参考文献】

島根県教育委員会・朝日新聞社『古代出雲文化展—神々の国 悠久の遺産—』1997年。

国立歴史民俗博物館『銅鐸の美』毎日新聞社 1995年。

## 2 ひろしま最新の考古学成果

### (1) 旧石器・縄文時代

① 只野原3号遺跡(庄原市高野町): 県内最古(3万年以上前)の後期旧石器時代初頭の集落遺跡

② 段遺跡(三次市上四拾貫町): 2万～3万年前の後期旧石器時代前半期の一時的集落跡

③ 和知白鳥遺跡(三次市和知町): 2～3万年前の後期旧石器時代前半期の集落跡

【本年度の「ひろしまの遺跡を語る」(H25.1.19)で詳細】

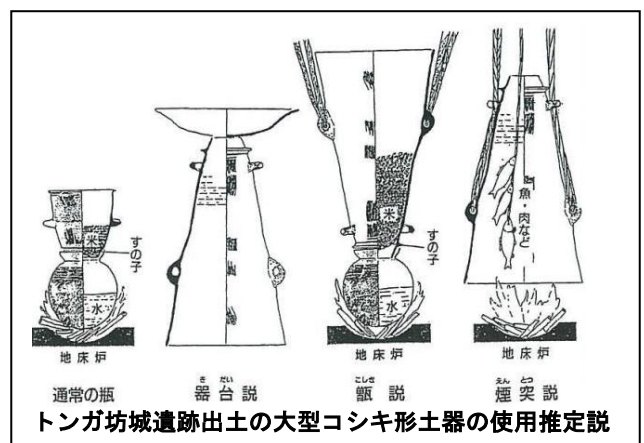
### (2) 弥生時代

① トンガ坊城遺跡(広島市安佐北区): 大型コシキ形土器が多数出土した後期の集落跡

【本講座第3回で詳細】

② 横田1号遺跡(東広島市西条町): 銅剣破片やガラス製管玉などが出土した中期～後期の集落跡

③ 佐田峠墳墓群(庄原市高町): 初期の四隅突出型墳丘墓群の学術調査



### (3) 古墳時代

- ① 甲立古墳（安芸高田市甲田町）：県北最大の前方後円墳  
【本講座第2回で詳細】
- ② 曲第2号古墳（庄原市口和町）：山間部の小型の中期古墳から立派な短甲（鉄のヨロイ）が出土
- ③ 宮の本第24号古墳（三次市向江田町）：直径30mの大型円墳を発掘 【本講座第5回で詳細】
- ④ 二子塚古墳（福山市駅家町）：前方後円墳の大型横穴式石室から金銅製装飾大刀の柄頭が出土 【本講座第6回で詳細】



### (4) 飛鳥・奈良・平安時代

- ① 備後国府跡（府中市元町）：発掘開始（1982）から30年。幻の備後の国府が明らかに
- ② 安芸国分寺跡（東広島市西条町）：歴史公園整備のため広範囲に発掘，寺域が明らかに
- ③ 向江田中山遺跡（三次市向江田町）：丘陵上に有力者の居館跡，郷の役所的な建物群か

### (5) 中世

- ① 牛の皮城跡（尾道市御調町）：御調川流域の交通の要衝につくられた16世紀代の山城
- ② 家ノ城跡（尾道市木ノ庄町）：中世荘園（木梨荘）内につくられた14世紀代の村の城
- ③ 頼藤城跡（三次市甲奴町）：中世荘園（小童保）の交通の要衝につくられた16世紀初頭の山城

### (6) 近世

- ① 広島城上八丁堀地点（広島市中区）：広島城中堀の東側の井戸跡から金箔押しの鯨瓦などが出土 【本講座第7回で詳細】
- ② 福山城外堀跡（福山市三之丸町）：福山駅前広場に位置する福山城外堀の舟入遺構を含む石垣



## 3 考古学から考える現代と大昔

### なぜか？世界の誰より・・・おいしいご飯にこだわる？・・・日本人・・・

『日本のご飯炊きは、コメに水を加えて加熱するだけというきわめて単純な調理であるにもかかわらず、コメの産地や銘柄、栽培法や新米古米、使う水の量や質、火加減などわずかな違いによって炊き上がりは千差万別で、「めし炊き十年」といわれるほど経験が必要とされた。

最近では日本の食文化も多様化し、食べ物の好みもさまざまだが、ご飯については「ほどよく弾力粘りがあって、温かいご飯」に国民的合意があるといわれている。』

### それはなぜか・・・??

はるか2000年以上前の弥生時代に答えがあるとみる・・・  
・・・・・・スライドで解説します。

### 【主な参考文献】

杉田浩一編『講座食の文化（第3巻）調理とたべもの』農山村文化協会1999年。  
日本放送協会「倒産からの大逆転劇 電気釜」『プロジェクトX挑戦者たち7 未来への総力戦』2001年。

小林正史・柳瀬昭彦「コゲとススからみた弥生時代の米の調理方法」『日本考古学第13号』日本考古学協会2002年。  
伊藤実「土器の蓋-弥生土器の甕蓋の効用とその意義-」『考古論集（河瀬正利先生退官記念論文集）』広島大学2004年。  
中野嘉子・王向華『同じ釜の飯』平凡社2005年。

